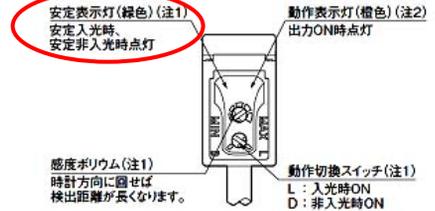


### 【安定表示灯】

#### ■ 安定表示灯とは？

主に、ON・OFF出力タイプの光電センサ、ファイバセンサ、レーザセンサなどに装備されており、センサの入光状態、及び非入光状態が安定しているかどうか？をオペレータに知らせることができます。(装備されていない機種もあります。) 一般的には、安定入光時、または、安定非入光時点灯という仕様になっています。(機種により仕様が異なります。) 透過型光電センサ(コの字型を除く)では、受光器に装備されています。安定表示灯の表示色は、基本として緑色です。



(注1): 透過型の投光器には、装備されていません。  
(注2): 透過型の投光器は、電源表示灯(緑色、通電時点灯)になります。

#### ■ 安定表示灯(仕様)の事例

CX-400シリーズ 各部の名称

小型光電センサCX-400シリーズの安定表示灯の仕様は、次のようになっています。

種 類	透 過 型			ミラー反射型					拡散反射型					
	長距離			偏光フィル付	長距離		透明体検出用						狭視界	
項目	型式名	NPN出力	CX-411	CX-412	CX-413	CX-491	CX-493	CX-481	CX-483	CX-482	CX-424	CX-421	CX-422	CX-423
		PNP出力	CX-411-P	CX-412-P	CX-413-P	CX-491-P	CX-493-P	CX-481-P	CX-483-P	CX-482-P	CX-424-P	CX-421-P	CX-422-P	CX-423-P
動作表示灯	橙色LED(出力ON時点灯) 透過型は受光器に装備													
安定表示灯	緑色LED(安定入光時、安定非入光時点灯) 透過型は受光器に装備													
電源表示灯	緑色LED(通電時点灯) 投光器に装備													

距離設定反射型小型光電センサCX-440シリーズの安定表示灯の仕様は次のようになっており、安定入光時・安定非入光時点灯ではありません。(CX-440シリーズは、入光量ではなく入光位置によりワークを検出する機種であるためです。)

種 類	距離設定反射型					
	小スポット					
項目	型式名	NPN出力	CX-441	CX-443	CX-444	CX-442
		PNP出力	CX-441-P	CX-443-P	CX-444-P	CX-442-P
動作表示灯	橙色LED(出力ON時点灯)					
安定表示灯	緑色LED(安定動作時点灯)					

コの字型光電センサRT-610シリーズの動作表示灯しかなく、安定表示灯は装備されていません。

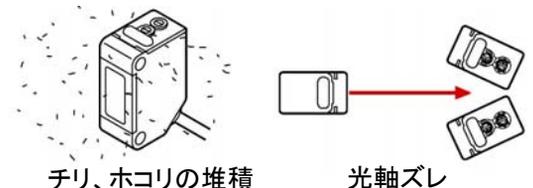
種 類	コの字型							
	マーク検出用							
項目	型式名	RT-610-10	RT-610-20	RT-610-50	RT-610-10R	RT-610-20R	RT-610-10G	RT-610-20G
動作表示灯	赤色LED(入光時点灯)							

#### ■ 安定表示灯が点灯した状態で使用するのが原則(基本)

検出物体がある時・ない時の入光量が、動作レベル(出力がちょうどONまたは、OFFするレベル)に対して十分に余裕がある場合に点灯します。(余裕幅は、一般的に約15%で固定されています。)

安定表示灯が点灯した状態で使用すれば、周囲温度や電圧の変動に対して影響されず、安定した検出が行なえます。基本として、検出物体がある時・ない時に関わらず、安定表示灯が点灯するようにセンサの選定、感度などの調整を行なう必要があります。

チリやホコリの堆積、光軸ズレにより受光量が減少した場合、安定表示灯が消灯(または、点滅)しますので、チリやホコリの清掃、光軸再調整を行なう必要があります。



## ■ 安定表示灯の点灯パターン

安定表示灯の点灯パターンは、出力動作(出力のON/OFF)に関係なく、安定入光状態、または、安定非入光状態の時に点灯します。

### 出力と表示灯の関係

入光時ONの場合			検出状態	非入光時ONの場合		
安定表示灯	動作表示灯	検出出力		検出出力	動作表示灯	安定表示灯
●	●	ON	安定入光	OFF	●	●
●	●	OFF	不安定入光	ON	●	●
●	●	ON	不安定非入光	OFF	●	●
●	●	OFF	安定非入光	ON	●	●

●、●：点灯、●：消灯

出力動作に関係なく、安定入光状態、または、安定非入光状態の時に点灯

